

Dell Storage Manager 2016 R3 リリースノート

管理者は、Dell Storage Manager を使用して、複数の Storage Center、PS Series グループ、FluidFS クラスタ、および Fluid Cache for SAN クラスタを管理および監視することができます。Dell Storage Manager 2016 R3 には、新機能と拡張機能が導入され、以前のリリースでの問題は修正されました。

リビジョン履歴

リビジョン	日付	説明
A	2017 年 2 月	Storage Manager 2016 R3 のイニシャルリリース
B	2017 年 2 月	一般的な修正
C	2017 年 5 月	Storage Manager 2016 R3.10 のリリース
D	2017 年 6 月	SC5020 ストレージシステムのアップデート
E	2017 年 7 月	Storage Center 7.2.11 用アップデート
F	2017 年 8 月	Storage Manager 2016 R3.20 のリリース
G	2017 年 10 月	SCv3000 シリーズストレージシステムのアップデート
H	2017 年 11 月	SC5020F および SC7020F オールフラッシュストレージシステムのアップデート

目次

管理互換性.....	1
ソフトウェアおよびハードウェアの要件.....	2
本リリースの新機能.....	4
注意事項および制限事項.....	6
修正された問題.....	7
未解決の問題.....	14
サポートリソース.....	30

管理互換性

Storage Manager は、Dell ストレージ製品を管理し、Microsoft 製品および VMware 製品の統合管理を提供します。

Storage Manager には、次の表に示されている製品との互換性があります。

製品	バージョン
Dell Storage Center	Storage Center バージョン 6.5 ~ 7.2
PS Series グループファームウェア	7.0 ~ 9.1
Dell FluidFS	4.0 ~ 6.0
Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM)	2012、2012 SP1、2012 R2、および 2016



製品	バージョン
VMware vCenter Site Recovery Manager (SRM)	5.5、5.8、6.0、6.1.1、および 6.5
Dell Storage Replication Adapter (SRA)	16.3.10
CITV	4.0 以降

ソフトウェアおよびハードウェアの要件

以下の項には、Storage Manager Data Collector、Storage Manager Client、および Storage Manager Server Agent の要件がリストされています。

Storage Manager Client の要件

次の表に、Storage Manager Client の要件を示します。


コンポーネント	要件
オペレーティングシステム	<p>最新のサービスパックを搭載した次の 32 ビットまたは 64 ビットオペレーティングシステムのいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows 8 Windows 8.1 Windows 10 <p>次の 64 ビットオペレーティングシステムのいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Red Hat Enterprise Linux 6.7 Red Hat Enterprise Linux 7 Red Hat Enterprise Linux 7.1 Red Hat Enterprise Linux 7.2 Red Hat Enterprise Linux 7.3 SUSE Linux Enterprise 12 Oracle Linux 6.5 Oracle Linux 7.0 <p> メモ: Windows Server Core はサポートされません。</p>
CPU	<p>32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) マイクロプロセッサ</p> <p> メモ: Linux 版の Storage Manager Client は、64 ビットのマイクロプロセッサのみをサポートします。</p>
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 4.0 (Windows のみ)
Linux VM Access Client	<ul style="list-style-type: none"> VMware vSphere Web Client Hyper-V マネージャ
ウェブブラウザ	<p>次の Web ブラウザのいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 11 Firefox. Google Chrome Microsoft Edge

コンポーネント	要件
---------	----

 **メモ: その他のウェブブラウザも動作する可能性がありますが、公式にはサポートされていません。**

Data Collector の要件


次の表に、Storage Manager Data Collector の要件を示します。

 **メモ: 最良の結果を得るため、Data Collector は、共有ストレージから供給された従来のボリューム上の Windows サーバ VM にインストールします。Data Collector VM には VVol を使用しないでください。**

コンポーネント	要件
---------	----

オペレーティングシステム

- 最新のサービスパックを搭載した次の 64 ビットオペレーティングシステムのいずれか
- Windows Server 2008 R2
 - Windows Server 2012
 - Windows Server 2012 R2
 - Windows Server 2016

 **メモ: 32 ビットのオペレーティングシステムはサポートされておらず、Windows Server Core もサポートされていません。**

Windows ユーザーグループ

管理者

CPU

2 個以上のコアを搭載した 64 ビット (x64) マイクロプロセッサ

100,000 以上の Active Directory メンバーまたはグループで構成されている環境の場合、Data Collector には 4 コアが必要になります

メモリ

ストレージ環境のサイズに基づいて変わります

- 4 GB : ストレージアレイ 1 ~ 5、またはボリューム合計 1 ~ 3,000
- 8 ~ 32 GB : ストレージアレイ 6 ~ 10、合計ボリューム 3,001 以上、または Active Directory のメンバーまたはグループ 100,000 以上

ディスク容量

20 GB 以上、FluidFS クラスタソフトウェアアップデートを管理するために追加容量が必要

ソフトウェア

Microsoft .NET Framework 4.0 Full

ウェブブラウザ

次の Web ブラウザのいずれか


- Internet Explorer 11
- Firefox.
- Google Chrome
- Microsoft Edge

 **メモ: その他のウェブブラウザも動作する可能性がありますが、公式にはサポートされていません。**

外部データベース

次データベースのうちのいずれか 1 つ :

- Microsoft SQL Server 2008 R2
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Express (10 GB に制限)
- Microsoft SQL Server 2012
- Microsoft SQL Server 2012 Express (10 GB に制限)
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2014 Express (10 GB に制限)
- Microsoft SQL Server 2016
- MySQL 5.5
- MySQL 5.6

コンポーネント	要件
	<ul style="list-style-type: none"> MySQL 5.7
	 メモ: ファイルシステムに保存された組み込み型のデータベースを外部データベースの代わりに使用できます。ただし、組み込み型のデータベースは 64 GB に制限され、過去 30 日間のデータのみが保持されます。組み込み型のデータベースは、本番環境には推奨されません。

Dell Storage Manager Virtual Appliance の要件

Dell Storage Manager Virtual Appliance は、以下の条件が必要です。

コンポーネント	要件
サーバオペレーティングシステム	64 ビットハードウェアの VMware vSphere 5.5、6.0、または 6.5
データストアサイズ	55 GB
CPU	2 個以上のコアを搭載した 64 ビット (x64) マイクロプロセッサ 100,000 以上の Active Directory メンバーまたはグループで構成されている環境の場合、Data Collector には 4 コアが必要になります
メモリ	ストレージ環境のサイズに基づいて変わります <ul style="list-style-type: none"> 4 GB : ストレージアレイ 1 ~ 5、またはボリューム合計 1 ~ 3,000 8 ~ 32 GB : ストレージアレイ 6 ~ 10、合計ボリューム 3,001 以上、または Active Directory のメンバーまたはグループ 100,000 以上
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> VMware vCenter Server VMware vSphere の高可用性

Server Agent の要件

次の表に、Windows ベースのサーバ用 Storage Manager Server Agent の要件を示します。

コンポーネント	要件
オペレーティングシステム	最新のサービスパックを搭載した次の 64 ビットオペレーティングシステムのいずれか : <ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2008 R2 (フルまたはコアインストール) Windows Storage Server 2008 R2 Windows Server 2012 (フルまたはコアインストール) Windows Server 2012 R2 (フルまたはコアインストール)
CPU	64 ビット (x64) マイクロプロセッサ
Microsoft .NET Framework	4.0 (完全)

本リリースの新機能

以下の機能は、Dell Storage Manager 2016 R3 に追加されました。

節電モードおよび緊急モードアラート

Storage Center が節電モードまたは緊急モードに入ると、Dell Storage Manager 2016 R3 はアラートを表示します。

Data Progression の向上

Storage Center バージョン 7.0 Data Progression では、Storage Center のパフォーマンスの影響を軽減するように変更されました。

Data Progression は毎日指定した時間に実行され、すべてのタスクが完了するまで続行されます。すべてのタスクが完了していない場合、それらのタスクは、次の Data Progression サイクルで完了されます。Data Progression は引き続き、Storage Center で設定されたスケジュールに従います。データ削減を向上させるには、**Data Progression の最大実行時間** フィールドを **無制限** に設定します。

ドライブスペアライトサイジング

Storage Center でスペアドライブが使用されている場合、ドライブスペアライトサイジングを行うと、Storage Center で容量が大きいスペアドライブのサイズを変更して、階層内の交換先ドライブの容量と一致させることができます。Storage Center でドライブのサイズが変更されると、その後は Dell Technical Support のサポートを受けずにドライブを元のサイズに戻すことはできなくなります。Storage Center バージョン 7.2.11 以降を実行しているすべてのコントローラで、ドライブスペアライトサイジングはデフォルトで有効になっています。

この機能により、Dell Technical Support では、同じサイズのドライブが使用できない場合に同じディスククラスの大容量ドライブのディスパッチが可能になりました。その結果、納品にかかる時間が短縮されています。

ディスク電源の時間レポート

Dell Storage Manager 2016 R3 を使用してユーザーは、Storage Center バージョン 7.1 以降のドライブの経過時間およびステータスについてレポートを表示できます。

Dell Storage Manager の拡張性

パフォーマンスを最適化し、接続の問題を防止するために、デルでは 1 つの Data Collector で管理する Storage Center は 10 以下にすることを推奨しています。Data Collector は、ネットワークの遅延、I/O 負荷、およびボリュームの数によってこの推奨制限を超える場合があります。

FluidFS バージョン 6 のサポート

Dell Storage Manager 2016 R3 には、FluidFS バージョン 6 のサポートが含まれます。FluidFS バージョン 6 には、次の新しい機能が含まれます。


- マルチテナンシー
- SMB3.1 および SMB3.1.1
- SMB3 マルチチャンネル
- SMB3 動的アクセスコントロール
- SMB 変更通知の完全サポート
- NFSv4 補助ロック
- FTP および FTPS ユーザー認証および暗号化
- 接続された SMB セッションの詳細の表示
- 1 対多およびカスケードレプリケーション
- レプリケーション WAN 最適化
- Active Directory 組織単位
- ローカルアカウント UID および GID の制御
- メタデータの階層化
- 128 TB のファイル
- SNMP v3
- 自動スケジュールレポート
- NAS ボリュームのコンテンツの統計

詳細については、『*Dell FluidFS Version 6 Release Notes*』(Dell FluidFS バージョン 6 リリースノート) を参照してください。



SRA を使用した拡張ストレージ

Dell Storage Manager 2016 R3.10 および Dell Storage Replication Adapter (SRA) バージョン 16.3.10 には、VMware Site Recovery Manager (SRM) および拡張ストレージ搭載の Live Volume のサポートが含まれます。Live Volume および拡張ストレージ搭載の SRA は、リモートの Data Collector をサポートしません。

 **メモ:** リカバリサイトで次の詳細設定を適用して、SRM に SRA 16.3.10 搭載の Live Volume を正しく動作させられます。アクティブ / アクティブ構成がある場合、これらの設定は両方のサイトに適用されます。

- `storageProvider.stretchedDevicesMatchTimeout` の値を 1000 秒に上げてください。
- SRM によって管理される各 Live Volume の `storage.commandTimeout` の値を 90 秒に上げてください。例えば、Live Volume が 5 つある場合、`storage.commandTimeout` の値は 450 秒に設定される必要があります。
- **Data Collector 設定の編集** ダイアログボックスの **復元ポイントを自動的に保存して検証する** チェックボックスを外し、復元ポイントが災害復旧後に劣化するのを防止します。

詳細については、「[Dell Storage Replication Adapter \(SRA \) に関連する未解決の問題](#)」を参照してください。

SCv3000 ストレージシステムのサポート

Dell Storage Manager 2016 R3.20 は、SCv3000 シリーズのストレージシステムをサポートします。

SC5020 ストレージシステムのサポート

Dell Storage Manager 2016 R3.10 は、SC5020 ストレージシステムをサポートします。

SC5020F ストレージシステムのサポート

Dell Storage Manager 2016 R3.20 は、SC5020F オールフラッシュストレージシステムと SC420F オールフラッシュ拡張エンクロージャをサポートします。

SC7020F ストレージシステムのサポート

Dell Storage Manager 2016 R3.20 は、SC7020F オールフラッシュストレージシステムと SC420F オールフラッシュ拡張エンクロージャをサポートします。

Linux 用 PS グループボリュームのインポートのサポート

Dell Storage Manager 2016 R3 では、PS グループボリュームのインポートは Linux オペレーティングシステムをサポートします。次のオペレーティングシステムがサポートされます。

- Red Hat Enterprise Linux 6.7
- Red Hat Enterprise Linux 7
- SUSE Linux Enterprise 11 または 12
- Oracle Linux 6.5
- Oracle Linux 7.0
- VMware ESXi 5.5 以降
- Windows Server 2008 R2 以降

注意事項および制限事項

本項では、Dell Storage Manager 2016 R3 のリリースに関する重要な情報について説明します。

クロスプラットフォームレプリケーションのスナップショット

ボリュームを Storage Center から PS Series グループへ複製した後では、PS Series グループに複製されたスナップショットはソースボリュームで設定されたスナップショットプロファイルに基づいて有効期限がなくなります。スナップショットが過度の容量を消費することを防止するには、Storage Manager の PS Series グループを手動で削除します。

マニュアルの訂正

『Dell Storage Manager 2016 R3 管理者ガイド』およびオンラインヘルプに、ライブ移行の作成要件として次の Storage Center バージョンが誤って記載されています。

ソースおよび宛先の Storage Center のバージョンが 7.1 以降である必要があります。

ライブ移行の作成要件である Storage Center バージョンは、次のように記載される必要があります。

ソースおよび宛先の Storage Center のバージョンが 6.7.30 以降である必要があります。

修正された問題

次の項では、Storage Manager R3 で解決された問題について要約しています。

修正された PS Series グループの管理に関連する問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 1. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-21915	Storage Manager は 255 文字を超えるセッションバナーを使用して、PS グループを管理できません。
DSM-19815	Storage Manager を以前のバージョンから Storage Manager 2016 R1 にアップデートすると、PS グループを管理できなくなります。
DSM-17313、DSM-17379	Storage Manager Client を最新の状態に更新した後、Storage Manager で PS Series グループ ボリュームの % 満杯、使用中の容量、スナップショット数 の列が更新されません。

修正された Data Collector に関連する問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 2. Storage Manager 2016 R3.20 で修正された問題

問題	説明
DSM-31950	ディレクトリトラバーサル脆弱性 (CVE-2017-14384) が解決されました。16.3.20 より前のバージョンの Dell Storage Manager では、EMConfigMigration サービスにディレクトリトラバーサル脆弱性の影響があります。悪意のあるリモートユーザーはこの脆弱性を利用してアプリケーションの入力パラメータに細工したストリングを指定し、ファイルを不正に読み取ることができました。悪意のあるユーザーがこの脆弱性を利用してファイルの削除や変更を行うことは、一切できなくなりました。
DSM-30415	ハードコードされたパスワード脆弱性 (CVE-2017-14374) が解決されました。16.3.20 より前のバージョンの Dell Storage Manager の SMI-S サービスは、ハードコードされたパスワードで保護されていました。リモートユーザーにこのパスワードの知識があれば、HTTP 要求を介して SMI-S サービスを無効にすることで、SMI-S インタフェースからストレージの管理および監視機能に影響を及ぼすことができました。この問題が発生するのは、Windows にインストールされた Data Collector (仮想アプライアンスは該当しません) のみです。



問題	説明
DSM-30030	Storage Manager Data Collector のプロキシサーバを有効にするには、google.com にアクセスする必要があります。ファイアウォールで google.com がブロックされていると、Data Collector のプロキシサーバを有効にすることができません。
DSM-24894、DSM-25133、 DSM-25353、DSM-26301、 DSM-27796	Data Collector が Storage Center および FluidFS クラスタから断続的に切断される場合があります。
DSM-19627	Storage Center に再接続しようとしているとき、Storage Manager は、LDAP が有効となっている Storage Center にログインできないことがあります。

表 3. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-27846	Storage Manager 2016 R3.1 にアップデート後、データベーステーブルがアップデートに失敗することが原因で、Data Collector サービスが起動に失敗することがあります。
DSM-26650	SSL 証明書をインポートして、Data Collector を再起動するか Data Collector をホスティングするサーバを再起動した後で、Data Collector が元の証明書に戻ります。
DSM-26646	Data Collector でワイルドカード FQDN を含む SSL 共通名が許可されません。

表 4. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-25701	リモート Data Collector で TCP/IP 接続が使い果たされ、リモートデスクトップ接続の失敗の原因となる場合があります。
DSM-24548	Kerberos 認証を使用して Active Directory を設定し、最初の試行が失敗すると、Storage Manager が他のキー配布センター（KDC）を試行しません。
DSM-24477	複数のサマリプラグインがユーザーに対して有効になっている場合に、Storage Manager 2016 R2 にアップデートした後で、Data Collector を使用したリモート Data Collector へのログインが失敗します。
DSM-21154	Data Collector を更新後、すべての Storage Center の接続が解除され、Data Collector が Storage Center に再接続できなくなります。
DSM-20623	Storage Manager 2016 R1 へアップデートした後、Data Collector サービスが起動に失敗する場合があります。
DSM-19302	Data Collector データベースを Microsoft SQL から MySQL に移行した直後に Data Collector を Storage Manager バージョン 2016 R1 にアップデートすると、Data Collector サービスが起動しなくなることがあります。
DSM-13469	リモート Data Collector は Storage Center への接続を 2 分毎に実行します。この問題により、新しいユーザーマッピングが作成されたことを示すログが誤って記録されます。

修正されたレプリケーションおよび Live Volume に関連する問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 5. Storage Manager 2016 R3.20 で修正された問題

問題	説明
DSM-29627	複数の管理ユーザーを使用して複数のレプリカを Live Volume に変換すると、Storage Manager がボリュームのマッピングを削除してボリュームの機能停止の原因となる場合があります。

表 6. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-26188	現在の複製と関連のない Dell Storage Replication Adapter (SRA) のランダムな復元ポイントを使用し再保護を実行すると、劣化状態に変更される場合があります。
DSM-23316	VMware SRM の再保護で、大規模なシステムにおけるレプリケーションの反転に失敗する場合があります。
DSM-22405	次の構成の場合、アレイマネージャを SRM に追加する操作が失敗する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • SRM 6.1 • SRA 16.2.1.213 • Dell Storage Manager 2016 R2 • Storage Center で Live Volume のライセンスがない場合
DSM-21143	リモート Data Collector を使用した再保護を実行すると、SRM が再保護に元の復元ポイントを使用しようとして失敗します。
DSM-20963	元のソースのストレージシステムの状況は、再保護が正常終了した後も新しいターゲットストレージシステムに更新されません。
DSM-20308	Storage Manager 2016 R1 の Storage Replication Adapter (SRA) に、VMware SRM で使用されないものを含む、すべてのレプリケーションオブジェクトが表示されます。
DSM-20047	Storage Manager では、災害復旧をアクティブ化するための特定のリプレイを選択するオプションは表示されません。
DSM-18365	Live Volume で強制削除を実行すると、Storage Center でボリュームからホストへのマッピングが削除される場合があります。
DSM-18016	ソースの Live Volume がダウンした場合に災害復旧をアクティブ化すると、Storage Manager では、サーバオブジェクトの情報が部分的にしか表示されないか、まったく表示されなくなります。
DSM-16870	Storage Manager 2016 R1 を使用した場合、Storage Replication Adapter (SRA) に拡張ストレージをサポートしない SRM 6.0 の Live Volume が表示されます。

ストレージ管理に関連する修正された問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 7. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-28371	アップデート後、Storage Center 上の多くのビューボリュームで、Storage Manager が SMI-S プロバイダの追加に失敗することがあります。
DSM-27326	Storage Manager のバージョン 2016 R2 へのアップデートおよび Storage Center のアップデート後に、Storage Manager で一部の Storage Center が表示されない場合があります。
DSM-26738、DSM-26176	一部のインスタンスでは Storage Center を削除する際に、Storage Manager で「ユーザーはすでに Storage Center に接続済みです」と表示され、Storage Center に再度管理することを許可しません。
DSM-25741	フォールトドメイン内の IP アドレスを変更しようとする、Storage Manager が不明なポートがダウンしているという誤った報告をします。

表 8. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-25301	Storage Manager で、Storage Center がダウンしていると誤った報告をする場合があります。
DSM-25172	IO カード変更の設定 ウィザードで、SC7020 の最終ページのみが表示され、設定する IO カードへの変更が許可されません。
DSM-17218	アラートに複数のメールアドレスが設定されると、Storage Manager は有効な電子メール形式を認識しません。
DSM-15214	iSCSI SCv2000 シリーズのストレージシステムのローカルホストからサーバを作成すると誤ったエラーが表示されます。
SCOS-15072	VLAN タグ付けありの以前に障害ドメインにあったポートで、VLAN タグ付けなしの障害ドメインを作成すると、エラーと接続問題が発生します。

ユーザー管理に関連する修正済みの問題

以下のユーザー管理に関連する問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 9. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-15408	Storage Manager は、SMTP 認証をサポートしていません。

修正された仮想アプライアンスに関連する問題

以下の問題は、Dell Storage Manager R3 で修正されました。

表 10. Storage Manager 2016 R3.20 で修正された問題

問題	説明
DSM-29418	Active Directory グループ内の Storage Manager Virtual Appliance に追加されたユーザーがログインに失敗します。

表 11. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-30067	Storage Manager Virtual Appliance 2016 R3.1 からのアップデート実行後に、Storage Manager Virtual Appliance の起動が失敗する場合があります。
DSM-28225	フランス語に言語を設定しているブラウザおよびオペレーティングシステムから Storage Manager Virtual Appliance を設定する際に、Storage Manager Virtual Appliance セットアップウィザードの Data Collector とデータベースのページが、空白で表示されます。
DSM-28214	新しい Storage Manager Virtual Appliance を導入して静的 IPv6 アドレスを選択後、Storage Manager Virtual Appliance で、選択した IPv6 アドレスを使用できない場合があります。

表 12. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-27025	Storage Manager Virtual Appliance をアップデートするとき、Storage Manager Virtual Appliance では、アップデート zip ファイルではないファイルを選択できます。そのファイルのサイズが大きすぎる場合、Storage

問題	説明
	Manager Virtual Appliance のパーティションの容量を大幅に消費し、そのために Dell Storage Manager サービスを開始できなくなる可能性があります。
DSM-25665	vSphere 6.5 を使用する際に、Storage Manager Virtual Appliance OVF テンプレートの展開が失敗します。
DSM-25657	データベースの容量が 100 % である場合、仮想アプライアンスの CLI から組み込みデータベースの展開を試みても失敗する場合があります。
DSM-22782	Storage Manager Virtual Appliance では、手動で時刻を変更できません。
DSM-22781	Storage Manager Virtual Appliance では、NTP サーバの IP アドレスが正しいことが確認されません。また無効な IP アドレスを設定することが許可されます。
DSM-24951	Storage Manager Virtual Appliance を使用して SupportAssist の情報を送信すると CPU の使用率がほぼ 100 パーセントになります。
DSM-25449	Storage Manager では、Storage Manager Virtual Appliance を使用する際に、バージョン 6.7 以前を実行している Storage Center のログが表示されません。
DSM-25646	Storage Manager Virtual Appliance の組み込みデータベースが最大容量に到達した場合は、Storage Manager Virtual Appliance は失敗し、ユーザーはデータベースを展開できません。
DSM-20767	Storage Manager Virtual Appliance の初期設定中、DHCP が使用できない環境で DHCP オプションを選択すると、Storage Manager Virtual Appliance の初期設定が正常に終了しません。

修正された仮想ボリュームに関連する問題

以下の問題は、Dell Storage Manager で修正されました。

表 13. Storage Manager R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-27377	Storage Manager 2016 R3 にアップデート後、Data Collector の起動の失敗が原因で、VASA キーストアファイルが破損することがあります。
DSM-27120, DSM-27094	Dell VASA Provider の URL が誤っているため、Storage Manager Virtual Appliance を使用して VASA Provider を登録すると、失敗します。

表 14. Storage Manager R2.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-14771	Dell Storage Manager IP を変更すると、VASA Provider で VASA 証明書を再生成し、再登録する必要があります。

修正されたクロスプラットフォームレプリケーションに関連する問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 15. Storage Manager 2016 R3.20 で修正された問題

問題	説明
DSM-20325	クロスプラットフォームレプリケーションで Storage Center のスナップショット制限 (1025) を作成した後、レプリケーションがダウンするが、Storage Manager にエラーが表示されません。
DSM-19875	Storage Center から PS グループへの複製について、専用の容量がいっぱいの場合 Storage Manager はレポートしません。複製は失敗しているのに Storage Manager は、正常に複製できたとレポートします。



問題	説明
DSM-16157	ボリュームに対して別のレプリケーションがすでに設定されている場合、Storage Center から PS Series グループへのレプリケーションを有効にできません。

表 16. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-20355	クロスプラットフォームに対する iSCSI 接続の作成に成功しても、エラーメッセージが表示されます。

表 17. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-25563	Storage Manager のクロスプラットフォームレプリケーションの 概要 タブでソースのストレージシステムが宛先として表示され、宛先のストレージシステムがソースとして表示されます。
DSM-25285	PS グループから Storage Center への複製に対するレプリケーションおよび Live Volume ビューのレプリカ予約の合計容量の値が正しくありません。
DSM-24058	クロスプラットフォームの削除後に、Storage Manager は、Storage Center ボリュームから PS グループへのマッピングを削除しません。
DSM-21078	Storage Center から PS グループへの複製のアクセスコントロールリストは保持されません。
DSM-20347	クロスプラットフォームレプリケーション専用の容量を利用可能な容量を超えて増やそうとするとエラーが表示されますが、エラーメッセージは原因を説明していません。
DSM-20343	Storage Manager でクロスプラットフォームレプリケーション専用の容量を変更できません。
DSM-20165	Storage Manager では、正しい状態であれ、ソース PS グループの容量不足により失敗したものであれ、クロスプラットフォームは表示されません。Group Manager のレプリケーションステータスは、 リモートサイズ変更が失敗したため一時停止 になります。Storage Manager Client の同期ステータスは いいえ になります。
DSM-19561	レプリケーションに対して設定される障害復旧をアクティブ化した後、Storage Manager で PS Series グループボリュームをプライマリに昇格できます。この操作はサポートされていません。
DSM-19019	専用の容量が 0 に設定されているとき、Storage Center から PS グループへのレプリケーション作成に失敗すると、エラーの詳細が表示されません。
DSM-18696	クロスプラットフォームのレプリケーションで連鎖したレプリケーションを作成しようとする、表示されるエラーメッセージで原因が適切に表示されません。クロスプラットフォームのレプリケーションでは、連鎖レプリケーションはサポートされません。
DSM-18124	レプリケーションスケジュールでクロスプラットフォームレプリケーションを設定後に設定を変更すると、レプリケーションに失敗し、パートナーダウン状態になることがあります。クロスプラットフォームのレプリケーションプロセスを開始した後は、iSCSI の設定を変更しないでください。詳細については、PS Series v9 リリースノートを参照してください。
DSM-17503	進行中のクロスプラットフォームのレプリケーションを削除しようとしても、Storage Manager はエラーを表示しません。進行中のレプリケーションは削除できません。
DSM-15720	Storage Manager で、PS Series グループから Storage Center へのレプリケーション先のボリュームサイズが 0 MB と表示される場合があります。
DSM-14688	レプリケーションの削除後も、そのレプリケーションの復元ポイントが Storage Manager Client に依然として表示される場合があります。Storage Manager Client には復元ポイントの情報は表示されません。
DSM-14676	Storage Center と障害ドメインノードの PS Series ストレージアレイ間のレプリケーションに対する CHAP 設定を変更すると、リモート iSCSI 接続に失敗することがあります。

問題	説明
DSM-10610、DSM-19255	復元操作中にユーザーがアクセスポイントを作成すると、クロスプラットフォームのレプリケーションを復元するときにエラーが発生します。

ユーザーインターフェイスに関連する修正済みの問題

以下の問題は、Dell Storage Manager R3 で修正されました。

表 18. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-28442	Storage Manager Virtual Appliance へ接続時にストレージタイプの使用履歴タブを選択後、Storage Manager クライアントがフリーズすることがあります。
DSM-11209	Microsoft SQL データベースと Data Collector を併用していると、ユーザーが自動レポートと削除できません。

表 19. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-24619	ボリューム拡張 タブからストレージ使用状況情報を保存するとエラーが発生します。
DSM-23950	サーバのアラートの確認後に、Storage Manager でサーバ上のアラートインジケータが無効にされますが、サーバフォルダのアラートインジケータは無効にされません。
DSM-21146	Storage Manager で、v4 を実行する FluidFS クラスタを管理する環境の ハードウェア タブに誤ったエラーメッセージが表示される場合があります。
DSM-16191	Dell Storage Manager Client は、SCv2000 ストレージコントローラに接続された拡張エンクロージャポートのステータスを正しく表示しません。
DSM-15955	ページを更新しても、Storage Manager は、ストレージタイプの サマリ タブの統計情報を更新しません。

その他の修正された問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 20. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-26833	Trend Micro の Zero Day Initiative (ZDI) が、Storage Manager 2016 R2 のセキュリティの脆弱性を特定しました。脆弱性は修正されています。
SCOS-42111	ストレージシステムが SEP ファームウェアのシャーシ署名を読み取れない場合、SC7020 または SC5020 ストレージシステムがストレージエンクロージャプロセッサ (SEP) に接続されたドライブへのアクセスをロックすることがあります。

SupportAssist とアップデートに関連する修正された問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3 で修正されました。

表 21. Storage Manager 2016 R3.20 で修正された問題

問題	説明
DSM-29377	Storage Manager から、FluidFS のアップデート後に使用可能になる FluidFS アップデートがあることを示す電子メールアラートが送信されることがあります。



表 22. Storage Manager 2016 R3.10 で修正された問題

問題	説明
DSM-28371	アップデート後、Storage Center 上の多くのビューボリュームで、Storage Manager が SMI-S プロバイダの追加に失敗することがあります。
DSM-27326	Storage Manager のバージョン 2016 R2 へのアップデートおよび Storage Center のアップデート後に、Storage Manager で一部の Storage Center が表示されない場合があります。
DSM-26738、DSM-26176	一部のインスタンスでは Storage Center を削除する際に、Storage Manager で「ユーザーはすでに Storage Center に接続済みです」と表示され、Storage Center に再度管理することを許可しません。
DSM-25741	フォールトドメイン内の IP アドレスを変更しようとすると、Storage Manager が不明なポートがダウンしているという誤った報告をします。

表 23. Storage Manager 2016 R3.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-26174	Storage Manager 2016 R 2 にアップデートすると、Storage Manager で SupportAssist を使用してサポートデータを送信できなくなる場合があります。
DSM-18948	大きなストレージ環境で Storage Manager が一部の SupportAssist データを保存できない場合があります。

Web UI に関連する修正された問題

以下の問題は、Dell Storage Manager で修正されました。

表 24. Storage Manager 2016 R3.20 で修正された問題

問題	説明
DSM-27046	Unisphere を使用して作成したスナップショットのフリーズ時間と期限時刻が、6 時間でオフになります。
DSM-18722	Storage Center を Data Collector から削除して再度追加した場合、Unisphere にユーザー名とパスワードは保持されますが、ログインできなくなります。

表 25. Storage Manager 2016 R2.1 で修正された問題

問題	説明
DSM-18625	無効な IP アドレスの Storage Manager Virtual Appliance のプロキシサーバを設定してもエラーは表示されません。代わりに、Storage Manager Virtual Appliance は再起動し、無効な IP アドレスの使用を試みます。

未解決の問題

以下の問題は、Dell Storage Manager 2016 R3.20 で発生します。

PS Series グループの管理に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、PS Series グループと Dell Storage Manager Client の管理に関連しています。

問題	説明
DSM-26532	Storage Manager で、PS Series グループで問題を解決した後でも問題に対するアラートがクリアされない場合があります。

問題	説明
	対策 ：なし
DSM-23693	Storage Manager で、PS Series グループでのコントローラのフェールオーバー後に、PS Series グループを非アクティブと表示します。 対策 ：PS Series グループから Storage Manager を一旦取り外して、再度追加します。
DSM-17321	Group Manager のごみ箱を空にすると、Storage Manager で、PS Series グループに対してアラートとアラームが表示されます。 対策 ：Group Manager のごみ箱からアラートとアラームを削除します。
DSM-15839	Storage Manager が管理する PS Series グループを Group Manager を使用してバージョン 8.0 から 9.0 にアップデートした後、Storage Manager で PS Series グループのステータスの更新ができません。 対策 ：Storage Manager Client を再起動します。
DSM-14934	ボリュームをスナップショットからオフライン状態に復元した後、そのボリュームは Storage Manager でオンラインと表示されます。 対策 ：Storage Manager Client でページを更新します。
DSM-13871	PS Series グループから Storage Center に起動ボリュームをオンラインでシンインポートした後、サーバにマッピングすると、サーバはそのボリュームから再起動できません。 対策 ：オンラインのシンインポートは、起動ボリュームではサポートされません。

データ削減に関連する未解決の問題

以下は、データ削減に関連する未解決の問題です。

問題	説明
DSM-16853	Storage Manager は、バージョン 6.7 以下を実行する Storage Center に対して、スナップショットオーバーヘッドの統計情報に誤ったデータを表示します。 対策 ：なし
SCOS-13237	データ削減の対象となるデータの量が 256 ページ未満の場合、ストレージタイプのデータ削減の統計情報が誤っている可能性があります。 対策 ：なし

Dell Unisphere に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は Dell Unisphere に関連しています。

問題	説明
DSM-26892	Unisphere を使用して他の Storage Center に自動レポート設定を適用すると、毎日、毎週、毎月のチェックボックスを有効にできません。 対策 ：各 Storage Center の自動レポート設定が正しいか確認します。
DSM-25451	Unisphere では、ユーザーグループを選択せずにボリュームマネージャまたはレポーターレベルのユーザーとしてドメインユーザーを追加することができます。 対策 ：なし
DSM-25107	Unisphere の一部のパフォーマンスチャートで、実際のデータではなく「NaN」と表示される場合があります。 対策 ：なし



問題	説明
DSM-24667	Unisphere を使用して、SupportAssist データを送信すると、情報が正常に送信されていても誤ってエラーと表示される場合があります。 対策 ：なし
DSM-24302	Unisphere で作成されたスナップショットで、開始および終了時間が誤って表示される場合があります。 対策 ：なし
DSM-24193	アカウントのロックアウトのしきい値が許容するログイン試行数の半分の試行後に、Storage Manager が Storage Manager アカウントをロックする場合があります。 対策 ：アカウントのロックアウトのしきい値を希望の容量の倍にします。
DSM-21139	Unisphere の システムアップデート オプションを使用して Windows Server にインストールされた Data Collector をアップデートしようとすると、エラーが発生します。システムアップデート オプションは、Storage Manager Virtual Appliance にのみ使用します。 対策 ：なし
DSM-20806	Unisphere にリモート Data Collector に対するプライマリ Data Collector 機能が表示されます。この機能を起動すると、リモート Data Collector を使用するレプリケーションが失敗します。 対策 ：なし
DSM-20769	Fibre Channel フォールトトレランスの設定 ウィザードの フォールトドメイン設定の生成 オプションが Unisphere で使用できません。 対策 ：Storage Manager Client を使用して、デフォルトのファイバチャネル障害ドメインを生成します。
DSM-20746	接続されている Storage Center にサフィックスのないホスト名で再接続しようとすると、Unisphere はホスト名が正しくないエラーで接続できないことがあります。 対策 ：完全なホスト名とサフィックスで Storage Center に再接続します。
DSM-19661	仮想アプライアンスを再起動後、仮想アプライアンスの起動処理が行われ、ログインの準備が整う前に、Unisphere がログイン画面を表示します。 対策 ：ログインする前に、仮想アプライアンスの起動処理が完了するのを待ちます。
DSM-18844	Unisphere で、サーバのグループまたはポリシー QoS プロファイルで複数のポリシーを作成すると、そのポリシーの QoS プロファイルが設定できません。 対策 ：ポリシーの作成後は、そのポリシーで QoS プロファイルを設定します。
DSM-18409	データソースを変更後、Data Collector データベースへの接続に失敗しても Storage Manager にエラーが表示されません。代わりに、データソースの変更 ウィザードの最初のページが表示されます。 対策 ：Data Collector データベースで接続障害を修正してからデータソースを再度変更します。
DSM-17754	ポリシーの作成時に、ソース Storage Center を変更すると、ポリシーフォルダが新しい Storage Center のフォルダに変更されません。 対策 ：ポリシーフォルダの変更は、Storage Center を変更した後に行います。
DSM-16444	スナップショットプロファイルのルールを作成すると、Unisphere では、Storage Center のタイムゾーン設定ではなく、UTC 時間を使用します。この問題により、複数の時間帯でルールの開始時間がオフになります。 対策 ：ルールを作成し、時刻誤差を調整するか、Storage Manager Client を使用してルールを作成します。
DSM-16373、DSM-16368	Unisphere に Data Collector データソース変更の進捗状況が表示されません。 対策 ：Dell Storage Manager Client を使用して、Data Collector のデータソースを変更します。

問題	説明
DSM-16267	VLAN にポートを追加するとき、Unisphere はユーザーに新しい IP アドレスの指定を要求しません。 対策 : Storage Manager Client を使用します。
DSM-16075	Unisphere では、ユーザープリファランス ダイアログの ストレージプロファイル選択を許可 がデフォルトで有効にされません。 対策 : ストレージプロファイル選択を許可 を有効にします。
DSM-16062	Unisphere を使用して、SNMP を SNMP v3 から SNMP v1/v2 に切り替えるとエラーが発生します。 対策 : Storage Manager Client を使用します。
DSM-15789	Data Collector を移行中、Unisphere のサマリページに、データベースは内部データベースであり、管理者ユーザーでないという誤った状態が表示されます。 対策 : なし
DSM-15748	Storage Center テーブルの 推測フル 列に誤った時間が表示されます。PM の位置に AM、AM の位置に PM と表示されます。 対策 : なし
DSM-15151	表示言語を英語から中国語に変更しても、Unisphere には英語が表示されます。 対策 : なし
DSM-15130	Unisphere ウィンドウのサイズを変更すると、ボタンと情報が重なって表示されます。 対策 : Storage Manager Client でページを更新します。

クロスプラットフォームレプリケーションに関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、Storage Center と PS Series グループ間のクロスプラットフォームレプリケーションに関連しています。

問題	説明
DSM-28871	iSCSI 接続を削除した後で、クロスプラットフォームレプリケーションで iSCSI 接続の再作成を試みると、失敗します。 対策 : Dell Technical Support にお問い合わせください。
DSM-26371	クロスプラットフォームのレプリケーションを 50 % で一時停止した後で、PS グループ上でリードコントローラを再起動すると、Storage Manager でクロスプラットフォームのレプリケーションの進行が 100 % として誤って表示される場合があります。 対策 : レプリケーションを再開します。
DSM-25944	Storage Manager で、リモート PS グループのオペレーティングシステムの名前が正しく表示されません。 対策 : なし
DSM-25697	iSCSI 接続を Storage Center から既に設定されている PS グループに設定し、その後で設定されていない PS グループを選択すると、Storage Manager は最初を選択された PS グループに接続を設定しようとします。 対策 : iSCSI 接続の設定 を一旦閉じてから再度開き、正しい PS グループを選択します。
DSM-25282	iSCSI 接続を作成し、その接続は正常に作成されているのに、リモート PS グループが 90 秒間応答しません。ただし、iSCSI 接続の設定 ウィザードは開いたままです。終了 を再度クリックして同じ接続を作成しようとしても失敗します。 対策 : 終了 をクリックしないでください。ウィンドウを閉じて、Storage Manager Client を更新します。



問題	説明
DSM-24885	<p>QoS 定義を作成しないで複数のボリュームを複製すると、レプリケーションの作成 ダイアログボックスの背後で QoS の作成 ダイアログボックスが表示されます。</p> <p>対策 : ボリュームを複製するか、レプリケーションの作成 ダイアログボックスを移動して QoS の作成 ダイアログボックスにアクセスする前に、QoS 定義を作成します。</p>
DSM-23428	<p>多数のボリュームの障害復旧をアクティブ化すると、Storage Manager がフリーズする場合があります。</p> <p>対策 : Storage Manager Client を一旦閉じて、再度開きます。</p>
DSM-23309	<p>Storage Manager で、ストレージ タブの ボリューム ノードから複数のボリュームに対する PS グループにレプリケーションを設定できません。</p> <p>対策 : 次のレプリケーションを個別に設定します。</p>
DSM-20532	<p>予約空き領域が完全に消費された場合、Storage Manager は完全な設定値としての値をレポートします。</p> <p>対策 : Group Manager で予約空き領域を表示します。</p>
DSM-20458	<p>ユーザーは、Storage Manager を使用してレプリケーションに使用するポートを削除できる。障害ドメインからのポートを削除すると、レプリケーションが分割されます。</p> <p>対策 : ポートが削除された場合は、Dell Technical Support にレプリケーションの再起動を依頼してください。</p>
DSM-19844	<p>クロスプラットフォームのレプリケーションが設定されていないと、PS グループに 容量設定の変更 オプションが表示されます。</p> <p>対策 : なし</p>
DSM-19667	<p>予定にない障害復旧のアクティブ化に対する復元ポイントは、即座に Storage Manager に表示されません。</p> <p>対策 : Storage Manager Client でレプリケーションビューを更新します。</p>
DSM-17647	<p>別の Storage Manager 管理者ユーザーで PS グループ ボリュームが作成された場合に、PS グループ ボリュームに対するレプリケーション情報が Storage Manager に表示されません。</p> <p>対策 : 同じ Storage Manager ユーザーでクロスプラットフォームのレプリケーションを作成します。</p>
DSM-17016	<p>Storage Manager に PS グループから PS グループへのレプリケーションスケジュールが表示されても、Storage Manager は PS グループ間のレプリケーションを管理しません。</p> <p>対策 : なし</p>
DSM-16754	<p>PS Series グループから Storage Center に 16 以上のボリュームを複製する場合、Storage Manager で待機中 状態が ダウン と表示されます。</p> <p>対策 : 一度に 16 を超えるボリュームを複製しないでください。</p>
DSM-16737	<p>Storage Center でボリュームを作成するとき、Storage Manager で Storage Center から PS Series グループへのレプリケーションの設定ができません。</p> <p>対策 : PS Series グループへのレプリケーションは、ボリュームの複製 ウィザードで設定します。</p>
DSM-16448	<p>削除された Storage Center から PS Series グループレプリケーションの復元ポイントは、障害復旧のアクティブ化ダイアログボックスに表示され続けることがあります。</p> <p>対策 : なし</p>
DSM-16095	<p>Storage Manager は、PS Series グループから Storage Center にレプリケーションされたボリュームの一覧に適切なボリューム情報を表示しないことがあります。</p> <p>対策 : ボリューム情報を表示したいボリュームを個々に選択します。</p>

問題	説明
DSM-15904	不十分な専用容量で Storage Center から PS Series グループへのレプリケーションを設定すると、Storage Manager に不適切なエラーが表示されます。 対策 ：PS Series グループで、レプリケーションに十分な専用容量に変更します。
DSM-14648	PS Series グループから Storage Center へのレプリケーションで障害復旧を作動後、Storage Manager はサーバへのボリュームマッピングを自動的に行いません。 対策 ：サーバに対するボリュームのマッピングは手動で行います。
DSM-13404	Storage Center のサマリページのレプリケーション検証プラグインは、PS Series グループから Storage Center に複製されたボリュームを表示しません。 対策 ：なし
DSM-13191	Storage Center および PS Series グループ間でレプリケーションパートナーシップを削除すると、同じ Storage Center および PS Series グループ間のレプリケーションパートナーシップを設定できません。 対策 ：Dell テクニカルサポートにお問い合わせください。
DSM-12865	PS Series グループで複数のボリュームに対して 今すぐ複製 を選択しても、最初のボリュームしか複製しません。 対策 ：ボリュームは個別に複製します。
DSM-10616	Storage Manager は、障害復旧から復元したサーバ / ボリューム間のマッピングを保持しません。 対策 ：サーバへのボリュームをマッピングします。
DSM-10461	PS Series グループに複数するボリュームを複数選択した後、PS Series グループはデスティネーションストレージアレイとして表示されません。 対策 ：ボリュームは個別に複製します。

Storage Manager Virtual Appliance に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、Storage Manager Virtual Appliance に関連しています。

問題	説明
DSM-30095	SupportAssist データを正常に送信した後でエラーが発生する場合があります。 対策 ：なし
DSM-28390	静的 IPv4 アドレスで Storage Manager Virtual Appliance をセットアップ後、DHCP がネットワーク上で利用できない場合、VM は IPv6 アドレスを表示することがあります。 対策 ：VM を再起動します。
DSM-24018	仮想アプライアンスのタイムゾーンを変更しても、Unisphere の仮想アプライアンスに表示される時間が変更されません。 対策 ：なし
DSM-19776	Open LDAP のユーザー名とドメインサフィックスで仮想アプライアンスにログインできません。 対策 ：ドメインサフィックスを使用しないユーザーを追加します。
DSM-15808	Storage Manager Virtual Appliance に移行後、Storage Manager Virtual Appliance は元の Data Collector と同じタイムゾーンになりません。 対策 ：Storage Manager Virtual Appliance のタイムゾーンを変更します。



問題	説明
DSM-15341	日本語または中国語で実装した仮想アプライアンスで、VMware コンソールの仮想アプライアンス CLI メニューが英語で表示されます。 対策 ：仮想アプライアンス CLI メニューは SSH を使用してアクセスします。

VVol に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、仮想ボリューム (VVol) に関連しています。

問題	説明
DSM-30674	Data Collector サービスの再起動後に、VVols ストレージコンテナが非アクティブになる場合があります。 対策 ：VASA プロバイダの登録を解除してから、VASA プロバイダを再度登録します。
DSM-27446	Storage Manager が、サーバビューの 接続 タブにある VVols ボリュームまたは VMFS ボリュームの情報を表示しません。 対策 ：ストレージビューから VVols または VMFS の情報を表示します。
DSM-16665	ESXi ホストをバージョン 5.5 から 6.0 にアップグレードした後、Dell Storage Manager は、ホストと ESXi 6 で可能な属性、特にプロトコルエンドポイントの認識を適切に反映しません。VVol データストアの追加のアーチファクトは、不適切な値 0B として特定されます。 対策 ：サーバを削除してから Dell Storage Manager に追加します。
DSM-16659	VM VVol のディスクのサイズを変更し、情報のアップデートを実行した場合、ストレージコンテナに設定された容量には変更後の値が反映されません。 対策 ：Dell Storage Manager を終了してから、再起動します。Dell Storage Manager クライアントには、変更したディスクサイズが表示されます。
DSM-16656	vCenter サーバに初めて Dell Storage Manager を登録するとき、 Storage Center の仮想マシンを自動管理 オプションを選択すると、検出されたすべての ESXi および VM がストレージパネルの サーバ ツリーでレンダリングされます。これらの VM のいずれかが後で vCenter から削除されても、Dell Storage Manager に表示されます。 対策 ：検出された VM を Dell Storage Manager から削除するには、VM を右クリックして削除します。
DSM-16248	まれに、Dell Storage Manager の サーバ ビューで 情報のアップデート を選択すると、エラー「java.net.SocketException: Unexpected end of file from server (java.net.SocketException : サーバからファイルの予期せぬ終了)」が表示されます。 対策 ：vCenter はオンラインで接続可能のように見えていても、vCenter を再起動して、Dell Storage Manager および vCenter 間の接続を適切に確立してください。この状況は VMware にログ記録されません。
DSM-15980	設計上、特定の Dell Storage Manager Data Collector で作成した Storage Center のストレージコンテナは、別の Dell Storage Manager では管理できません。ただし、ストレージコンテナを選択してデータストアを作成しようと試みることはできます。Dell Storage Manager では、使用可能なストレージコンテナのリストで、管理対象でないストレージコンテナは表示されないようフィルタリングされます。 対策 ：同じ Dell Storage Manager で作成されたストレージコンテナを選択します。または、vCenter を使用して、既存のストレージコンテナからデータストアを作成します。vCenter が利用可能なストレージコンテナを適切にフィルタリングします。
DSM-15879	Dell Storage Manager と VMware で統合された環境を確立する場合、VMware のインベントリを Dell Storage Manager にインポートして管理機能を強化するなど、さまざまなオプションがあります。個別にホストを追加したり、vCenter サーバを作成して登録したりするオプションを選ぶことができます。 対策 ： ストレージ タブに vCenter サーバから作成するオプションも利用できますが、より信頼性の高い Dell Storage Manager Server タブの使用を推奨しています。 サーバ フォルダを選択してから サーバの登録 →

問題	説明
	<p>VMware vCenter サーバの追加 の順に選択します。次に、Storage Center の自動管理 を選択すると、Storage Center が入力されます。</p>
DSM-15803	<p>まれに、特定の VVol データストアから別の場所に VVol VM を移行すると、元のデータストアの config またはデータ VVol が孤立することがあります。この VVol は合計 VVol に対して計算されるため、不要な領域を占有します。</p> <p>対策 : Dell Technical Support に VM の削除を依頼してください。</p>
DSM-15302	<p>Dell Storage Manager で入力された (空白ではない) データストアを削除使用とすると、エラーが発生します。接続エラーは、vCenter サーバに赤色の X で表示されます。</p> <p>対策 : トップレベルメニューの情報のアップデート ボタンをクリックします。</p>
DSM-14891	<p>高速クローン VM に作成した VM の履歴が表示されます。そのため、このクローン VM のデータ VVol は、元の VM のデータ VVol の設定を継承します。この履歴の共有には以下の影響があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージコンテナのデータ削減プロファイルを変更すると、その後生成される高速クローン VM の config およびデータ VVol で、データ削減のプロファイルが一致しくなくなります。 • ユーザーが元の VM に対して VM ストレージポリシー適用すると、高速クローン VM のデータ VVol に同じ変更が適用されます。その逆もあります。 <p>対策 : なし</p>
DSM-14806	<p>VM をホストする VVol データストアに十分な容量がない場合、スナップショットを持つ仮想マシンで移行またはクローン処理を行うと操作に失敗することがあります。これらの操作に必要な一時スペースのオーバーヘッドは、各ディスクのサイズおよび VM のスナップショット数に左右されます。</p> <p>対策 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. VVol データストア (ストレージコンテナ) の容量がいっぱいかどうかを確認します。 2. VVol データストアのサイズを増加させてオーバーヘッドに対応してから、操作をやり直します。
DSM-14570	<p>VASA Provider にレポーター権限がある DSM ユーザーを登録しようとする、失敗します。ただし、「Username or password is incorrect (ユーザー名またはパスワードが正しくない)」が報告されます。正しいエラーメッセージは、「user with Reporter privilege is not allowed to register VASA provider (レポーター権限を持つユーザーは、VASA Provider の登録はできません)」というメッセージです。</p> <p>対策 : エラーメッセージを無視し、管理者権限を持つ DSM ユーザーで VASA Provider を登録します。</p>
DSM-14301	<p>vCenter 6.0 サーバまたは ESXi 6.0 ホストでデータストアを表示すると、Dell Storage Manager Data Collector ユーザーインターフェイスのデータストア接続 タブが空白になります。</p> <p>対策 : vCenter または ESXi 6.0 クライアントを使用して接続情報を表示します。</p>
DSM-14149	<p>VM の Storage vMotion が進行中に、新しい VM ストレージポリシーを適用しようすると、VM のコンプライアンス状態が「Out of Date (旧型)」になります。</p> <p>対策 : Storage vMotion が完了してから、新しいストレージポリシーを適用します。</p>
DSM-13801	<p>Dell Storage Manager を更新中にアプリケーションまたはフォルダが開いていると、Dell Storage Manager Data Collector を開始できないことがあります。このとき、「Error setting up JBoss: deleting joboss directory (JBoss 設定エラー : JBoss ディレクトリ削除エラー)」となります。このディレクトリには、VASA ログフォルダ、サーバログフォルダ、および msa サービスフォルダなどがあり、デルでは、アップデートを実行する前に、すべてのアプリケーションとフォルダを閉じることを推奨しています。</p> <p>対策 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows Explorer で、コントロールパネル → プログラムと機能 の順に選択します。 2. Storage Manager Data Collector を選択し、変更 をクリックします。

問題	説明
	変更 ウィンドウでは修理を選択できます。JBoss ディレクトリを含むファイルを再インストールします。
DSM-13316	Dell Storage Manager でストレージコンテナのサイズを増やすと、vCenter ユーザーインターフェイスに新しいサイズのデータストアが表示されますが、VM を作成しようとしたときに容量不足のエラーが表示されます。 対策 : データストアのマウントを外してから、再度マウントします。
DSM-13274	Dell Storage Manager VASA Provider は、VASA1 または VASA2 を使用しているかどうかに関わらず、常に 1 つの vCenter Server にのみ登録可能です。Dell VASA Provider に対して同時に複数の vCenter サーバは登録できません。vCenter サーバを Dell Storage Manager に登録してから、そのサーバを Dell VASA Provider に登録するには、まず、VASA Provider でサーバの登録を解除してから、別の vCenter サーバを Dell VASA Provider に登録する必要があります。 対策 : vCenter サーバを Dell VASA Provider に登録しようとして失敗した場合は、別の vCenter サーバが Dell VASA Provider に登録されていないことを確認してください。
DSM-13042	まれな状況下で、複数の VM に同時にスクリプトを使用して VVol 操作 (クローニングとスナップショット) を含めて VVol を削除しようとしても、VVol VM は VVol を削除できません。このシナリオは、非効率的な容量の消費および将来使用可能な VVol 全体が縮小されることにつながります。 対策 : VVol の削除は、ユーザーレベルで対応できる修正オプションではありません。Dell Technical Support までお問い合わせください。スクリプトを使用して同時に VVol 操作を実行することは避けてください。代わりに、スクリプトの連続操作または間隔をあけた操作を実行してください。
DSM-12732	ストレージコンテナを作成した後で VVol データストアで使用することができます。その論理サイズはストレージアレイの物理容量を超えています。超過しているコンテナの容量値 (vCenter ユーザーインターフェイス) は、ストレージコンテナの論理値ではなく、アレイの実際の空き容量または合計物理容量値を反映しています。 対策 : なし
DSM-12728	まれに、ボリュームの容量消費情報が空白になることがあります。 対策 : クライアントを一旦閉じて再度開きます。
DSM-11945	VASA の登録解除した後でも、VVol データストアはアクティブで、電源オフの VM にアクセス可能になります。VM の電源をオンにする、あるいは新しい VM を作成しようすると、vCenter が VASA Provider が存在しないことを検知して、VVol データストアを非アクティブとしてマークします。 対策 : なし
DSM-11417	2 つのホスト間で高可用性 (HA) が設定されているとき、アクティブホストへの管理ネットワークアクセスが失われると、VVol はアクティブなホストからスタンバイホストに移行されます。この状況は、VMFS と似ています。またこれは異常ではありません。ただし、データネットワークのみがダウンした場合、VMFS データストアはスタンバイホストに移行され、VVol はフェールオーバーしません。VMCP は現在、VVol をサポートしていません。 対策 : データネットワークがダウンした場合の対策はありませんが、管理ネットワークは起動状態を維持します。ただし、アクティブホストにつながる管理ネットワークがダウンした場合は、データネットワークの状態に関係なく、フェールオーバーがトリガされます。
DSM-9825	Dell Storage Manager にストレージコンテナを作成した後で vCenter からデータストアを作成すると、VASA Provider がデータストアを検出する前に遅延が生じることがあります。 対策 : デルでは Dell Storage Manager から VVol データストアを作成することを推奨しています。このタスクは、1 回の実行で Storage Center にストレージコンテナを作成し、vCenter にデータストアを作成します。Dell Storage Manager にストレージコンテナを作成する場合は、vCenter からデータストアを作成します。1 ~ 2 分後に Dell Storage Manager に vCenter が表示されます。新しいストレージコンテナが vCenter で確認できたら、VVol データストアを作成できます。
DSM-151	Dell Storage Manager でストレージコンテナを削除した後でも vCenter に VVol データストアがアクティブで表示されます。データストアに VM を作成しようすると、非アクティブとしてマークされます。

問題	説明
	対策 : なし

Data Collector に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、Data Collector に関連しています。

問題	説明
DSM-28366	Storage Manager が、Data Collector をホスティングするサーバのホスト名と一致しない CN 名を使用したカスタム SSL 証明書を許可しません。 対策 : CN 名が Data Collector サーバのホスト名と一致するか確認します。
DSM-27877	Storage Manager では、別のタイムゾーンにある Data Collector のアカウントの時刻を変更しません。 対策 : なし
DSM-14882	Storage Manager は、レポートデータを Data Collector MySQL データベースに期限より長く保存します。これによりサーバの容量が過剰に使用されます。 対策 : MySQL データベースのデータを手動で削除します。
DSM-9482	Data Collector のセットアップを実行中、Data Collector サービスが予定通りに起動されないと、セットアップウィザードが続行できません。 対策 : セットアップウィザードを閉じてから、Data Collector Manager にログインします。

Dell Storage Replication Adapter (SRA) に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は Dell Storage Replication Adapter (SRA) に関連しています。

問題	説明
DSM-29251	Windows の言語をポルトガル語 (ブラジル) に設定している場合、SRM のバージョンが正しくなく、エラーの原因となります。 対策 : Windows の言語をポルトガル語 (ブラジル) から英語に変更します。
DSM-28723	SRM で Live Volume を使用して強制 DR ワークフローを実行すると、一部の復元ポイントが劣化状態になり、セカンダリシステムで一部の保護対象 VM が登録に失敗することがあります。 対策 : この問題を防ぐには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> Storage Manager で Data Collector 設定の編集 をクリックします。 スケジュール をクリックします。 復元ポイントを自動的に保存して検証する チェックボックスのチェックを外します。 OK をクリックします。 強制 DR ワークフローを再度実行します。
DSM-28137	vMotion が環境で有効になっていない場合に、Live Volumes での SRM 計画済みフェールオーバーが失敗します。 対策 : 拡張ストレージおよび Live Volume を使用する Dell Storage Replication Adapter (SRA) では、vMotion が必要です。vMotion を有効にしてください。
DSM-28278	Live Volume がリモート Data Collector を使用して作成された場合、SRM を使用して Live Volume をリカバリすると間欠的に失敗することがあります。 対策 : Storage Manager Client の Live Volume の復元ポイントを検証して、SRM でリカバリプロセスを再度開始します。



問題	説明
DSM-27978	SRM 5.8 上の Dell Storage Replication Adapter (SRA) をセットアップする際に、サポートリンクが壊れました。 対策 ：なし
DSM-27783	SRM によって管理されるソースボリュームと宛先ボリュームのレプリケーションが同じボリューム索引を持つ場合、再保護操作に失敗することがあります。 対策 ：テクニカルサポートにお問い合わせください。
DSM-26741、DSM-27865	Dell Storage Replication Adapter (SRA) を使用して複数のリカバリプランを一度に実行すると、重複した復元ポイントが作成される場合があります。 対策 ：リカバリプラン個別に実行します。
DSM-25732、DSM-18751	Dell Storage Replication Adapter (SRA) のインストールウィザードで、SRA の古いバージョンからアップデートを開始することはできます。SRA の前のバージョンからのアップデートはサポートされません。 対策 ：SRA の前のバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールします。
DSM-25234	vCenter 5.5 を使用して SRM 6.5 ワークフローの実行中に、ストレージの同期ステップで誤った警告メッセージが表示されることがあります。 対策 ：メッセージを無視します。

レプリケーションおよび Live Volume に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、レプリケーション、Live Volume、および、コピー、ミラー、移行に関連しています。

問題	説明
DSM-28520	災害復旧のアクティブ化のテストを実行後、Storage Manager が、レプリケーションおよび Live Volume タブからそのボリュームを削除することを許可しません。 対策 ：マッピング解除後、ストレージビューからボリュームを削除します。
DSM-27850	Live Volume で、レプリケーションと Live Volume ビューの QoS タブに、セカンダリ QoS ノードのデバイスの正しい番号が表示されません。 対策 ：なし
DSM-25028	ボリュームが一貫性のあるスナップショットプロファイルを使用すると、Storage Manager が Live Volume を作成できません。 対策 ：元のボリューム上でスナップショットのプロファイルを変更します。
DSM-24076	サーバに宛先ボリュームをマッピングした後に、Storage Manager で 復元ポイント タブに復元ポイントの宛先ボリュームがないと誤って表示される場合があります。 対策 ：なし
DSM-15338	復元ポイントに割り当てられているスナップショットプロファイルが削除されている場合、障害復旧のアクティブ化に失敗します。 対策 ：削除するスナップショットプロファイルの復元ポイントを編集します。
DSM-9421	RDM VM で複数の RDM VM を管理するリカバリ計画および保護グループを使用している場合、再保護が失敗し、リカバリサイトでコアダンプを引き起こす可能性があります。 対策 ：RDM VM ごとに単一の保護グループと単一のリカバリ計画を使用します。
DSM-9478	コピーまたは移行がスケジュールされていた場合、Storage Manager はコピーまたは移行の操作完了後にコピーまたは移行オブジェクトを削除しません。

問題	説明
	対策 ：コピーまたは移行オブジェクトを手動で削除します。
DSM-9294	複数のレプリケーションまたは Live Volume を同時に作成するとき、設定エラーの修正やプロセスの再開によって、レプリケーションまたは Live Volume が重複して作成されることがあります。 対策 ：作成操作が失敗した場合、設定エラーの修正にウィザードを使用して続行しないでください。その代わりに、ウィザードを終了して再起動し、失敗したところからレプリケーションまたは Live Volume の作成を再開します。
SCOS-41191	Storage Center に直接接続する際に、レプリケーション、Live Volume、または Live Migrate オブジェクトを削除しようとすると失敗し、エラーが表示されます。 対策 ：Data Collector を使用して Storage Center に接続します。
SCOS-12067	ボリュームをインポートしたとき、Storage Manager の LUN 番号に 0 を選択できません。 対策 ：なし

ストレージ管理に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、ボリュームの管理、ストレージプロファイル、スナップショット、および Data Progression に関連しています。

問題	説明
DSM-29001	ローカルサーバが Windows Server 2016 を実行している場合、ローカルサーバのサーバオブジェクトの作成に失敗することがあります。 対策 ：サーバを再起動して、ローカルホストウィザードからサーバの作成を再度立ち上げます。
DSM-28683	高優先度ストレージプロファイルを ESXi サーバのすべてのボリュームに適用した後、Storage Manager にエラーが表示されます。 対策 ：ストレージプロファイルを各ボリュームに個別に適用します。
DSM-28481	一部のケースでは、Storage Manager を使用して Storage Center を再起動後、シャットダウン / 再起動ダイアログボックスが開いたままです。 対策 ：Storage Center が正常に再起動されたか確認して、シャットダウン / 再起動ダイアログボックスを手動で閉じます。
DSM-28354	Storage Manager が、サーバビューで Server Agent により監視されている一部の Hyper-V 仮想マシンのボリュームの情報を表示しないことがあります。 対策 ：ストレージビューで、これらのボリュームの情報を表示します。
DSM-28297	Storage Center を検出して設定するウィザードが、検出された Storage Center 上のディスクに対して誤ったサイズを表示します。 対策 ：なし
DSM-28295	Server Agent を再インストール後、Storage Manager を使用してサーバを登録すると、失敗することがあります。 対策 ：Storage Manager Client でサーバを登録します。
DSM-27862	Storage Center を検出して設定するウィザードが SED のキー管理サーバを設定しますが、Secure Data フォルダの SED を管理しません。 対策 ：Storage Center を検出して設定するウィザードを完了後、Secure Data フォルダの SED を管理します。
DSM-27655	Windows Server 2016 を実行しているサーバ上でマップおよびフォーマット操作中に Storage Manager Server Agent がサーバ上でボリュームのフォーマットに失敗して、エラーメッセージが表示されます。ボリュームはサーバへ正常にマップされます。



問題	説明
	対策 : サーバ上のボリュームを手動でフォーマットします。
DSM-20038	Storage Center の初期設定で、Storage Center を検出して設定するウィザードが Storage Center のアップデート中に終了します。コントローラの再起動が完了するまで、このウィザードは開けません。 対策 : コントローラの電源が入るのを待ち、Storage Center に再接続してから、初期化されていない Storage Center を検出して設定するウィザードを起動します。
DSM-20037	ホストに VMware ソフトウェアの iSCSI アダプタではないアダプタが含まれている場合、VMware vSphere または vCenter ウィザードから サーバの作成 を使用してサーバを作成しようとすると障害が発生します。 対策 : サーバの作成 ダイアログボックスを使用して、サーバを手動で作成します。
DSM-19752	Storage Center で、Data Progression 開始時刻を、1 時間だけ変更しても、変更されません。 対策 : Data Progression 開始時刻を希望する時間に変更する 1 時間以上前に変更します。
DSM-17166	Storage Manager で、既存のフォールトドメインと同じターゲットアドレスおよび / または VLAN ID を使用して、フォールトドメインを作成することができます。 対策 : なし
DSM-16903	SC7020 のコントローラを削除して挿入し直した後、ポートがアンバランスとなっても、Storage Manager は、ポートのバランスを調整するオプションを即座に表示しません。 対策 : Storage Manager Client を再起動します。
DSM-15660	シングル冗長性レベルの制限を超える 3 層ストレージタイプのティア 2 にディスクを追加後、ティア 3 がティア 2 ではなくデュアル冗長性を強制します。 対策 : なし
DSM-14705	ボリュームの推定フルタイムが不適切な日付 (Jan 1, 1970 12:00:00 AM) で表示されることがあります。 対策 : なし
DSM-13534	ポートのデータセンターブリッジング情報を表示する場合、障害ドメインノードの サービスクラス優先度 フィールドが、障害ドメインのポートに設定された iSCSI 優先度と一致しないことがあります。 対策 : なし
DSM-13200	スナップショットプロファイルがごみ箱を介さずに削除され、ボリュームに割り当てられたとき、更新するまで Storage Manager はスナップショットプロファイルを削除しません。 対策 : Storage Manager Client を更新します。
DSM-11762	Server Agent を使用してボリュームを作成する場合、Storage Center の別のボリュームにサポートされていない文字が含まれていると、ラベルに不正な文字が含まれていることを示す警告が Storage Manager に表示されることがあります。 対策 : サポートされない文字を含むボリュームのラベルを修正します。
DSM-10124	ユーザーは Storage Manager を使用して、ダウンサーバにマップされている新しいボリュームに事前に割り当てられたストレージを設定することができます。この操作は成功しません。 対策 : なし
DSM-9478	コピー / ミラー / 移行のスケジュールが完了した後も、クライアントにスケジュールが表示されます。 対策 : スケジュールを削除します。
DSM-9428	vSphere または vCenter ウィザードの サーバの作成 を使用してサーバクラスタを作成すると、サーバクラスタの各ノードに対してサーバクラスタ Storage Center オブジェクトが作成されます。

問題	説明
	対策 ：なし
DSM-9390	ESXi または vSphere でホストされている VM に RDM を作成すると、ホストマップボリュームが、クラスタオブジェクトではなく、クラスタ内のサーバにマップされます。 対策 ：手動でボリュームを ESXi サーバクラスタマッピングに昇格します。その後で vCenter サーバ上のホストを再スキャンします。
SCOS-14951	ボリュームおよびスナップショットを削除した後、Storage Center は、ディスクフォルダの空き容量として、削除されたボリュームの容量をすぐにレポートしません。 対策 ：Dell テクニカルサポートにお問い合わせください。

SupportAssist とアップデートに関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は、SupportAssist および Storage Center と Dell Storage Manager のアップデートに関連しています。

問題	説明
DSM-16901	サービスに影響を与える Storage Center のアップデートを起動すると、「SC のアップデートが見つかりません」というエラーが表示されることがあります。 対策 ：エラーのメッセージを容認してから、Storage Center に再接続します。アップデートが継続されます。

Dell Storage Manager Client に関連する未解決の問題

以下の未解決の問題は Dell Storage Manager Client に関連しています。

問題	説明
DSM-28859	フランス語がデフォルト言語として設定されているサポートされていない Linux クライアントを使用すると、Storage Manager Linux クライアントのようこそ画面に空白が表示されます。 対策 ：次のクライアントのいずれかを使用して Linux VM を起動します。 <ul style="list-style-type: none"> VMware vSphere Web Client Hyper-V マネージャ
DSM-26168	Storage Manager でボリュームおよびボリュームフォルダが選択されると、削除するためのオプションが表示されます。Storage Manager では、1 つのアクションでボリュームおよびボリュームフォルダを削除することはできません。削除しようとするとう失敗します。 対策 ：ボリュームおよびボリュームフォルダを別々に削除します。
DSM-25083	Storage Manager Client を Linux 上でバージョン 2015 R1 から以降のバージョンにアップデートするとエラーが発生します。 対策 ：Storage Manager Client をアンインストールして、クライアントを再インストールしてください。
DSM-24010	Storage Center をアップデートすると、Storage Manager で、Storage Center の概要 タブに一部のストレージ統計情報が表示されない場合があります。 対策 ：ナビゲーションペインから特定のノードを選択して、ストレージオブジェクトのそのタイプの統計情報を表示します。
DSM-20153	監視 ビューの 監査ログ タブにある メッセージ 列に、PS Series グループのメッセージが表示されません。 対策 ：Group Manager を使用して監査ログのメッセージを表示します。
DSM-14987	Storage Manager がサーバに接続されていても、RED で構成されていない、ダウン状態の SC4020 の iSCSI ポートが表示されます。 対策 ：なし



問題	説明
DSM-14009	Dell Storage Manager Client を更新しても、Storage Center ノードの赤点インジケータをクリアしない。 対策 : Dell Storage Manager Client を再起動します。
DSM-13758	ピアコントローラを再起動すると、空白の警告ダイアログボックスが表示されます。 対策 : なし。ダイアログボックスを確認します。
DSM-12518	ボリュームの マッピング タブに、水平スクロールバーが表示されないことがあります。 対策 : なし
DSM-9577	SCv2000 シリーズコントローラ用のフロントエンド SAS カードには、ESXi ホストに対する WWN 情報がありません。 対策 : ESXi ホストにインストールする前に、SAS WWN 情報を記録します。
DSM-9548	サーバビューの Server Agent 情報に、iSCSI 経由で接続されているサーバの情報が表示されません。 対策 : Storage Manager Client を更新します。
DSM-9477	Storage Manager は、再起動が完了していなくても、再起動が順次完了したとレポートすることがあります。 対策 : 再起動の完了を確認してから次に進んでください。
DSM-7908	XML 形式でエクスポートされた I/O 使用状況レポートをウェブブラウザで開くと、フランス語用の出力をすべて表示できません。 対策 : Notepad などのテキストエディタを使用してレポートを開きます。
SCOS-12316	Storage Manager に、マルチ VLAN タグをサポートしない I/O カード用のマルチ VLAN タグ オプションが表示されます。 対策 : マルチ VLAN タグをサポートしない Qlogic カードのマルチ VLAN タグは有効にしないでください。

ユーザー管理に関連する未解決の問題

以下は、Storage Center および Dell Storage Manager ユーザーの管理に関連する未解決の問題です。

問題	説明
DSM-28536	Storage Manager をバージョン 2016 R3.10 にアップデート後、アップデートを開始したユーザーの Storage Center 設定の編集 ダイアログボックスの プリファランス タブに、Storage Manager がエラーを表示することがあります。 対策 : Storage Manager Data Collector から Storage Center を削除して、Data Collector に Storage Center を追加し直します。
DSM-24536	ユーザーの設定の各フィールドに、< または > 文字を使用するとエラーが発生します。 対策 : それらの文字を使用しないでください。
DSM-15445	ユーザーの識別名 (DN) を使用していると、Storage Manager を Active Directory に追加できません。 対策 : ユーザープリンシパル名 (UPN) を使用して Storage Manager を Active Directory のレルムに追加します。
DSM-12329	ユーザーのロックを解除後、すぐにステータスがロック解除に変更されないことがあります。 対策 : Storage Manager Client を更新します。
SCOS-14309	Storage Center は、手動で定義された LDAP サーバとのディレクトリサービス通信を制限しません。この問題により、Storage Center をディレクトリ環境に連結させるときに遅延が生じる、あるいはディレクトリユーザーおよびグループを Storage Center に追加して認証できなくなる場合があります。

問題	説明
	対策 ：なし
SCOS-11192	Storage Center は、代替 DNS サフィックスを使用するように設定されたディレクトリサービスユーザーを認証できません。 対策 ：なし

未修正のベンダーの問題

次の問題は、Dell によって製造された製品が原因で発生する問題ではありませんが、Dell Storage Manager に影響します。

問題	説明
DSM-15535	何らかの理由で Storage Center を再起動する場合、コントローラを再起動する方法に順次または同時のいずれかを選択できます。同時を選択すると、Storage Center がホストする電源の入っていない VVol VM へのアクセスを復元させた後でも vCenter ユーザーインタフェースにアクセス不可として表示されます。VM を回復するには、VM を vCenter のインベントリから削除し、データストアを参照してインベントリに追加し直します。 対策 ：VMware Knowledge Base の文書番号 2126021 を参照してください。
DSM-15000	静止ゲストファイルシステムの VVol VM スナップショットに失敗します。 対策 ：VSS 機能のない VMware ツールをインストールします。詳細については、VMware Knowledge Base の文書番号 2069952 を参照してください。
DSM-14997	sDRS を VVols と使用すると、両方の VVols が同じ Storage Center 上にある場合、vCenter が誤って VM の移行を推奨します。 対策 ：何らかの操作を実行する前に、vCenter からの推奨を確認します。

その他の未解決の問題点

以下の問題は、Dell Storage Manager と Storage Center で未解決の問題です。

問題	説明
DSM-28784	ディスクフォルダ内の Storage Manager の総容量が、SCVMM で報告された同じディスクフォルダのサイズと一致しません。 対策 ：なし
DSM-28532	異なる Storage Center 上のボリュームと同じ索引を持つボリュームのチャージバック部門を変更後、Storage Manager が、チャージバック部門で変更したボリュームを表示しないことがあります。また Storage Manager は、その他の Storage Center 上の同じ索引を持つボリュームのチャージバック部門を変更することもあります。 対策 ：なし
DSM-28524、SCOS-41051	Data Collector を介して Storage Center に接続した際に、Storage Manager がエンクロージャ名の変更を許可しません。 対策 ：Storage Center に直接接続後、名前を変更します。
DSM-27414	BMC インターフェース設定モードを静的から DHCP へ変更する際に、静的モードの IP アドレスセットアップが維持されます。また、設定モードを DHCP から静的に変更して IPv4 アドレスのみ修正した場合、Storage Manager がネットマスクとゲートウェイ IP アドレスを無効な値に変更します。 対策 ：設定モードを修正後、IP アドレスが正しいことを確認します。
DSM-27252	Storage Manager を使用した Storage Center ログの Syslog サーバへの転送が失敗します。



問題	説明
	対策 : Storage Manager を介する代わりに Storage Center をセットアップして、Syslog を直接 Syslog サーバに転送します。
DSM-26037	SMI-S で残り容量と使用容量について誤った数字が表示される場合があります。 対策 : なし
DSM-16593	SNMP を有効にせず別の Storage Center に SNMP の設定を適用すると、メッセージを表示しないエラーが発生します。 対策 : 設定する前に Storage Center の SNMP を有効にします。
DSM-16280	BMC 設定の編集 ダイアログボックスは、BMC が管理イーサネットポートを介してアクセス可能であることを意味します。この情報は、SCv2000 および SC4020 ストレージシステムでのみ適用されます。 対策 : なし
DSM-16100	Storage Manager Web UI では、レガシー Storage Center のプライマリトランスポートとして 2 つのポートを持つことができます。 対策 : Dell Storage Manager Client を使用して、1 つのポートがプライマリトランスポートであり、他のポートがリザーブトランスポートになっていることを確認します。
DSM-15879	VMware 用のホストセットアップウィザードでは、VMware ソフトウェア iSCSI アダプタではないアダプタが含まれている ESXi ホストの HBA を選択できません。 対策 : サーバの作成 ダイアログボックスを使用して、サーバを手動でセットアップします。
DSM-15757	vSphere Web Client プラグインを使用して、リプレイを回復する際、データストアに与えられたデフォルト名に間違えた時刻が表示されます。 対策 : なし
DSM-8608	複数ページの自動レポートが縦方向で印刷されるとき、最初のページは縦で印刷されますが、以降のページは誤って横向きに印刷されます。 対策 : レポートを PDF で保存し、別のアプリケーションを使用して印刷します。
CQ00420311	Dell Storage Manager Client が長い間起動されている Data Collector との接続を失うことがあります。この問題が発生すると、次のエラーが生成されます。 データソースから JDBC 接続を取得できません。 対策 : Microsoft の修正プログラムを適用します。これは、 http://support.microsoft.com/kb/2577795 からダウンロードできます。

サポートリソース

次のセクションでは、Storage Manager の使用に関する詳細情報を記載したリソースを示します。

関連マニュアル

Storage Manager バージョン 2016 R3.20 には次のマニュアルが用意されています。

- 『*DellStorage Manager2016 R3.20 インストールガイド*』(文書番号 : 680-028-021)
インストールおよびセットアップ手順が記載されています。
- 『*DellStorage Manager2016 R3.20 管理者ガイド*』(文書番号 : 680-017-024)
Data Collector Manager および Dell Storage Manager Client の使用手順について説明します。
- DellStorage Manager2016 R3.20 オンラインヘルプ*
Dell Storage Manager Client、Data Collector Manager、Storage Manager Server Agent の状況依存のヘルプについて記載します。

- 『Dell Storage Manager 2016 R3.20 Web UI 管理者ガイド』(文書番号 : 680-122-001)
Dell Storage Manager Web UI を使用して、Dell ストレージデバイスを管理するための手順と情報が記載されています。

マニュアルの入手方法

次の場所には、Storage Manager を使用して Dell のストレージ製品を管理する際に役に立つ文書が含まれています。

- *Dell サポート*
Dell のストレージ製品のマニュアルを提供します。www.dell.com/support にアクセスしてください。
- *Dell TechCenter*
Dell のストレージ製品に関する技術的なホワイトペーパー、ベストプラクティスガイド、およびよくあるお問い合わせ (FAQ) を提供します。
<http://en.community.dell.com/techcenter/storage/> にアクセスしてください。

デルへのお問い合わせ

カスタマサポートの詳細については、www.dell.com/support にアクセスしてください。

